



日本経済団体連合会（経団連）の傘下にあり、日本経済団体連合会（経団連）の各協会・団体を通じて、中小企業や個人事業者に対して、様々な課題を解決するためのサポートを行っています。また、経営者・管理者向けの研修や、経営者・管理者の悩みを解決するためのサポートも提供しています。

# しょうせい 翔生

通巻 vol.31

平成13年12月号（年2回3月・8月発行）

全国商工会議所青年部連合会

〒100-6005東京都千代田区丸の内3-2-3  
[日本商工会議所中心企業会館5階内]  
TEL.03-3283-7847

広報委員会

代表委員長 吉藤 隆一 副委員長 古田 正典  
委員 吉田 貴裕 / 安藤 寿男 / 大西 一男  
顧問 清 / 山下 七帆 / 水澤 尚毅

平成13年度

## 会長・副会長・専務理事挨拶

本年度スローガン

**「連携YEG実践展開・  
パトナールからリアルへ」**



平成13年度  
全国商工会議所青年部連合会  
会長 古泉 幸一

**古泉流構造改革  
「開かれた商青連」**

21世紀の始まりは、社会全体が閉塞感に包まれたままスタートしたのではないかと感じています。閉塞感を打破するには、時間が必要とされています。

中小企業全体の今は窮乏状態、大企業改革を必要とされています。私たちが経営環境は出口の見えない閉塞と苦しむ状況といえます。

そんな中、商工会議所青年部に地域は大きな期待を注いでいます。自らの企業や店舗を通じて私たちが先頭に貢献してまいります。これからは私たちが地域を創っていく必要があります。そしてそれが地域経済の活力となり、経済界の発展につながるようになります。企業が発展するために今までもと進み新しい経営者の養成、身の丈にあった経営の確立など構造改革をしなければなりません。

その為、全国商工会議所青年部連合会はどうかあるべきか考え、その方同様に村とする方向性を示していかねばならぬと考えます。その方向性を確認することで、自企業の経営者に対する自信にも繋がります。

また、閉塞感は横ばいしています。超高齢化社会、銀行の不良債権処理、そして日増しに増え続ける人口減少の問題、今までの経営における価値観を根本から変えていかなければいけません。また、感覚も異なります。そのために経営者の育成を重視し、確かな方向性を身だしやししていく必要があります。



副会長 大脳 唯眞

**「丸となつて  
古泉丸の大漁を！」**

この新年に向けて、我々が最も大切にすべきは、互いの絆を深め、互いを支え合えることだと思っております。そして、互いに成長を遂げ、互いに貢献できることだと思っております。

日本経済の停滞は、我々の経営者にとって大きな課題です。私たちが経営者として、互いに支え合えること、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。そして、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。



副会長 関根 敏伸

**熱気と  
チャレンジ精神**

経営者は、経営者としての責任を背負って、互いに支え合えること、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。

経営者は、経営者としての責任を背負って、互いに支え合えること、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。そして、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。



副会長 首藤 俊一郎

**自分たちで  
創り出す！**



副会長 辻 伸吾

**我々のビジネス  
構造改革を実現**

我々のビジネス構造改革を実現するためには、互いに支え合えること、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。そして、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。



副会長 鈴木 肇

**日本経済活性化の  
起爆剤**

日本経済の活性化を促進するためには、互いに支え合えること、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。そして、互いに成長を遂げ、互いに貢献できること、これが我々の使命です。



# 委員会紹介

## 総務委員会



総務委員会は総務6名で構成しております。主な業務である総会・役員会の開催に加え、新卒・役員会議を開催しております。

また本会会長の御めいたYEGとの協働・思いやり共創委員会・委員会・ブロック代表理事会の各会議室をホームページ上に掲載いたします。併せてホームページの運用や各種名簿等の管理に関する規約も制定いたします。重要な事項として、掲載が終了している掲載会（新卒・後援者等育成事業）に関する調査・情報収集を行いホームページ上にて提供させていただきます。なお、私生活等及び各事業に調査票を添付しておりますので、情報のご提供をより、くお願いいたします。これは各各種会議資料の電子化に関する提案をさせていただきます。

最後に今後の新卒者のあり方について、委員会メンバーが全国各ブロックの役員会・指導者から新卒者に対する助言やアドバイスを、新卒者や今後の方向性を提示してまいりますのでご意見をぜひご意見をぜひお寄せください。

今後とも各委員会に対し、ご指導・ご鞭撻をより多くお願いいたします。

## 企画委員会



私たちは企画委員会は、大福副会長のご指導のもと7名のメンバーで活動しています。活動の内容は、新卒者主体の大会である全国大会、全国会長研修会の成功をお手伝いします。なんと、新卒者の中には、もともと経験の大きな、そして会員の皆様の方々に新卒者を体験して頂くことが出来る貴重な大会です。主催される各役員・専任の方々の思いやり、主催者である新卒者の方針がすべて「コア」に作られて素晴らしい大会となるよう統一目標を持って活動いたします。もちろん今年度の大会だけでなく、翌年・翌々年の大会に関する期間中や日程の決定、基本コンセプトの確立など活動内容は結構多岐にわたります。

また、今年度からブロック大会の役員選考についてもお手伝いすることになりました。各ブロック大会には大福副会長と企画委員が協力を入れて参加いたしますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 広報委員会



現在、広報委員会では、ホームページの逐次更新と、「読者」の採用作成に奮闘しております。今までは採用数が少なかったホームページ「読者」を全国のメンバーの募集とすることを目標に、15あるブロックのすべてで採用活動を展開していただくことを目指しております。

13年度開始から14年度、15年度から16年度、委員会メンバーが手探りでいろいろの役割を分担してまいりました。その企画は、以下のものです。

1. 各ブロックで採用活動の準備を支援していただくこと
2. ホームページの採用ページを高めるために、各種大会の開催と、セミナーの企画を進行して内容を充実させる。

またホームページに全国の新卒イベントを掲載し、専任の職員も一緒にサポートする。広報活動の推進に貢献するメンバーを募集していただくため、記事も多し、ホームページと連携させていく。上記の企画を行っていただき、全国のメンバーの賛成ご支援をお願いして委員会報告と致します。

## 研修委員会



研修委員会のメンバーは、副副会長以下7名という、新卒者の委員会の中で一番少ない人数で活動しています。しかし、少数精鋭という言葉がぴったりの責任感のあるメンバーで、委員会も専任メンバーで内容のある、素晴らしい企画、運営をしております。当委員会の担当している「読者」と「ヤングリーダー」の2つの大きな事業は、全国3万人の一般公募で集まってきた研修者です。それゆえに内容も魅力的な大会に企画することが絶対条件といえるので、たいへんメンバーの協力と知恵が求められています。

しかし、そんなことをやっていられない、すでに「読者」は思いやりとつながりがないという悩みがいろいろありましたが、なんと克服することができました。成功や失敗は事業に参加していただいた研修生に決めていただくとして、結果に事変なく運営できたことに満足しています。新しいことは半年毎の報告書を楽しみにしていただきたいと思います。いま、後援委員会メンバーは、次なる事業「ヤングリーダー」の企画に取り組みしています。「参加してよかった」と言ってもらえるように、準備していただくのと同時に多くのYEGメンバーの参加もお待ちしております。

# ブロック紹介

## 役員紹介



■ 会長  
有橋 純造  
(東京都)



■ 副会長  
加城 祐史  
(北海道)



■ 総務  
千葉 富士夫  
(宮城県)



■ 相談役  
吉本 博次  
(奈良県)

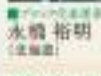


■ 相談役  
北島 重利  
(徳島県)

## 北海道ブロック



■ 会長  
国枝 素二 (北海道)

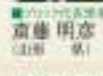


■ 副会長  
大橋 裕明  
(北海道)

## 東北ブロック



■ 会長  
鈴木 順三 (宮城県)  
藤崎 忠邦 (青森県)  
佐藤 利明 (岩手県)  
高橋 茂 (秋田県)  
阿部 幹雄 (山形県)  
西村 修 (福島県)



■ 副会長  
宮藤 明彦  
(山形県)

## 北陸信越ブロック



■ 会長  
山ノ下 武志 (富山県)  
松本 仁 (石川県)  
野澤 真人 (長野県)

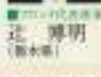


■ 副会長  
鈴木 啓嵩  
(新潟県)

## 関東ブロック



■ 会長  
宮田 豊和 (茨城県)  
宮川 吉昭 (群馬県)  
安藤 秀男 (埼玉県)  
関 学 (千葉県)  
鈴木 郁介 (神奈川県)  
渡辺 真弘 (静岡県)

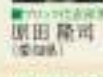


■ 副会長  
芝 博明  
(東京都)

## 東海ブロック



■ 会長  
大西 一司 (岐阜県)  
笠間 清 (静岡県)  
山本 和正 (愛知県)



■ 副会長  
原田 隆司  
(愛知県)

## 近畿ブロック



■ 会長  
金 央信 (滋賀県)  
竹原 繁明 (京都府)  
岩崎 進彦 (大阪府)  
木下一成 (兵庫県)  
水本 和真 (奈良県)  
山岸 寛士 (和歌山県)  
西岡 基博 (徳島県)



■ 副会長  
杉本 登  
(和歌山県)

## 中国ブロック



■ 会長  
清水 雅文 (高知県)  
渡部 哲弘 (高知県)  
仁田 一郎 (広島県)  
光永 武 (山口県)

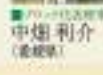


■ 副会長  
中塚 勉一郎  
(岡山県)

## 四国ブロック



■ 会長  
塚田 和典 (徳島県)  
山下 仁規 (高知県)  
味本 豊 (高知県)  
越智 英俊 (愛媛県)

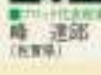


■ 副会長  
中畑 利介  
(愛媛県)

## 九州ブロック



■ 会長  
上田 崇仁 (佐賀県)  
木村 寿宏 (熊本県)  
河野 巧 (大分県)  
水澤 高樹 (福岡県)  
松下一郎 (鹿児島県)  
新里 建二 (沖縄県)  
宗野 和博 (福岡県)



■ 副会長  
崎 達郎  
(佐賀県)









Symbol Logomark

第21回商工会議所青年部全国大会

2001年11月

8木 9金

# 小田原箱根大会開催

2001年11月8日(木)9日(金)

全国大会小田原箱根大会が開催された。  
全国357単会から3,568名に参加いただき、  
ご縁満開に感謝!

去る十一月八日九日、全国大会小田原箱根大会、全国三五七単会から三五六八名という多くのYをむかひの箱根のYを参加いただき、無事開催させていただきましたことを、まずは心より御礼を申し上げます。

大したおもてなしもありません。また、至らぬことはかりで、大会会場の力不足と心苦しく存じます。それでも、何となくここまで運営できたのは、いろいろな力があるから、いろいろな場面でいろいろな交わりで助けてくれたおかげと、そう素直に感謝しております。ありがとうございます。

新しい時代には新しい全国大会を！  
キーワードは「変革」と「連携」「実践」「リアル」

「全国大会をやらなせよ」という手を挙げてから七年が経りました。メンバーも世代交代をし、時代も変わりました。両方を取り巻く環境はよりいっそう厳しくなっています。私たちが商定人はよりいっそうの自己変革が求められています。そんな中で迎える二十一世紀最初の全国大会、「新しい時代には新しい全国大会を」という思いで、商定者が日商の歌歌に戦った最初のこの記念すべき時に、商定者の集まりである我がYEGの原点を見直し、「変革」のキーワードを念頭に、古泉会長が掲げられたスローガンの「実践」「実践」「リアル」のキーワードを形にすべくYEGに設立して新しい全国大会を目指しました。「あなたたちは新しいYEGを創る仲間と出逢います。出会いとともに、あなたの商定に役立つヒントが見つかります。YEGの良であることの素晴らしさを実感していただきます。そして、宝物にならないたくとんのお土産とともに二十一世紀への元気を差し上げます。あなたが主催の全国大会です。」そんな大会を目指しました。

合言葉は「ご縁満開」  
ハイテックハイタッチなおもてなし

「ご縁満開」を合言葉に掲げ、地元メンバー二五〇名による「お世話書」やYEGを応援した「新しいお世話書」というハイテクのハイタッチをおもてなしの新しい試みにもチャレンジさせていただきました。単に大会当日だけを全国大会と捉えるのではなく、事前も事後も含めての企画とし、大会が始まる前からのご縁取り、大会中での自分な情報提供を通して、お世話書を通じては目的意識を持って小田原箱根の地に来ていただけるようにしたいです。主催YEGと全国からの参加YEGとの間に「縁」を、そして、全国のYEGとお互いの出会いの場を提供したい。そして大会当日は、田舎の友に会うワクワク、その二種が大会前日・後にも繋がっていくことを希望します。また、演説に役立った大会というところで、ビジネス交流プログラムをつづいて縁満開、小田原箱根YEGのビジネスフォーラム(2)と

始打つて、本大会のメインイベントと位置づけました。ワタタミの渡邊社長の夢に日々向け、「河野太郎の流通博覧会」(二)「ガリガリアン」(三)「八咫金の野口誠」(四)「いっせいでん」(五)「アントン」(六)「正解」(七)「M&A」(八)「ハルエアー」(九)「豊かな笑顔の音橋による講演会」(十)を企画するもよし、六〇を超えも全国からのYEGと内外の企業ブームを覗き、商談をするもよし、ブレインセッションを開くもよし、新しい友人とつながるもよし、という企画でした。箱根に役立つ気持も、情報ビジネスイベントのチャンスを見つけていただけましたか？お世話書、お世話書のしくみを通じて知り合ったまだ会わぬYEG仲間との出会いの場になりましたか？

初日の最後は、大徳観音と温泉旅館での別荘、神奈川のうまいものを食べ、箱根ならでもおもてなしと準備しました。いがいがでしたでしょうか？温泉の湯気はいかがでしたでしょうか？

日が変わつて二日目、元氣溢れる記念式典は、全国から一堂に会するYEG会員の一体感と奉仕の方々を通じてのYEGの外部へのPRの場になったのではと手前味噌ながら思いました。

記念講演では、講師をお招きしておりました樋口敬の発痛というアクションで促されました。しかし、多くの方々のお力添えのおかげで、近藤雅之のお話することができました。セラトショップ、小田原の商店街との連携した「YEGまちおこし」物産展でも多くのYEGの友情が花開いたようです。出席してくださったYEGの皆様、ありがとうございます。

ここにYEGという素晴らしい集まりがあり、手を差し伸べれば振り返してくれる素晴らしい仲間がいる！

大会が開幕した今、思いの何分のかが形にできたのだろうかと思っております。しかし、はつきりと確信できたことは、「ここにYEGという素晴らしい集まりがあり、手を差し伸べれば振り返ってくれる素晴らしい仲間がいる」ということです。大会の閉幕は終わりでではなく、全国YEGの首脳はじめこの大会にいらるお立ち寄りの方々を待たせてくれた人々からこの大会であつて欲しいと、ひたすら念じています。満開の縁が、次には大きな夢を結びつくれることを祈っております。

初夜でもよい思い出を積み重ね、「ありがとうございました」またお会いできる日の夢からゆめ(こ)をきいてほしい。

● 小田原市長、小田原YEGの傍には本宮に  
よく来てくれました。この場で身内を  
守めるのは其の場では承知していま  
すが、二日ばかりを回わすくたさい。



●「ご縁満開」(開会式)中継



●次年度大会の企画



●又年度大会の企画



●次年度大会の企画



●次年度大会の企画















今回は全国の青年部内で話題?の  
「若手後継者等育成事業」の  
レポートをお届けします。

## 恐怖の自己内面分析!

九州ブロック 宮崎県連  
日向・高鍋商工会議所青年部  
写真と文 ● 宮崎県連山内理事 水沼真樹



▲高鍋に集った若手後継者等育成事業の研修

重要な自己内面分析及び意識改革をテーマに、研修会を開催した。この本を読んだ方も多いと思うが、本の中心にはあくまで自己分析が中心で、その行動パターンと自分を照らし合わせる事で自己の行動パターンや自己の何が出来るようになるか、おのれの参加者の意識を高める事で、この研修会ではあくまで自己分析を中心とした研修会を開催した。自己分析をする機会が少ないメンバーに、こういう研修会があるのではないかと、今後こそこういった研修が組織できればと願う。

本年度、宮崎県連では、若手後継者等育成事業(1)の部として高鍋をブロックに、県北と県東で連携事業を行うこととし、その先陣を切す。平成13年6月18日(日)向高工会議所会館にて、高鍋において、数回にわたる「自己内面分析」を教材とし、実践の時代を生きるために

## 4単会が力を合わせてイベントを企画運営!

東海ブロック 三重県連  
津・久居・鈴鹿・亀山商工会議所青年部  
写真と文 ● 三重県連山内理事 笠岡 清



▲久居のイベントの様子

津・久居・鈴鹿・亀山商工会議所青年部では、平成13年若手後継者等育成事業の区域連携(地域連携事業)の一環として、津市、地城町、鈴鹿市、中勢北勢サイエンスセンター(技術振興局)周辺の商工会青年部と連携し、行政、民間企業、地域との連携、交流及び地域産業の発展等を目的とした総合イベント「これぞ未来のサイエンス」を開催。地域、人、企業それぞれ、それぞれを平成13年5月20日(日)に、津市の新習志野(中勢北勢サイエンスセンター)において開催しました。

当日は天候にも恵まれ、1日全日出席の企業、関係者のコブエ・高鍋、ホバート・高鍋、体試・高鍋、フリーマーケット、など、非常に盛り上がったイベントとなりました。

皆さんのご意見お待ちしております。  
このコーナーでは、全国の青年部メンバーからのざっくばらんな投稿をお待ちしております。お問い合わせは各県出向理事または商青連ホームページまで!

- 平成13年度 会長・副会長・専務理事挨拶 ..... 1
- 委員会・ブロック紹介 ..... 2
- Z アントレプレナーズ委員会紹介 ..... 3
- T 全国大会報告 ..... 4
- E ブロック大会報告 ..... 5
- N 翔生塾 in 韓国 ..... 6
- T ヤングリーダー研修 全国会長研修会PR ..... 7
- S YEG見聞録北から南から 編集後記 ..... 8



▲セミナーで話し合っている様子

山のスメントを行い、約200人の市民の方々が参加され、大盛況に終る事が出来ました。

この事業は、津市、久居市、鈴鹿市、亀山市の4単会を中心として、事業の企画から打ち合わせ、事業実施から、当日の運営等に協力されました。宮田氏が協力し、今回のような大きなイベントを成功させたという点で、大きな功績となりました。またYEGとして行動力を高めるための研修会を実施していただきました。

## 編集後記

今回の「翔生塾」発行が滞りまして大変な迷惑をお掛けしました。まずは、お詫言ひ申し上げます。

今回の「翔生塾」発行が滞りまして大変な迷惑をお掛けしました。まずは、お詫言ひ申し上げます。

今回の「翔生塾」発行が滞りまして大変な迷惑をお掛けしました。まずは、お詫言ひ申し上げます。

今回の「翔生塾」発行が滞りまして大変な迷惑をお掛けしました。まずは、お詫言ひ申し上げます。